



道農連 2019年2月の月間活動トピックス

HP <http://donouren.sakura.ne.jp/> ☎011-241-5416

日米貿易協定交渉等に断固反対する特別決議を採択／道農連第46回定期総会

道農連は2月13日～14日、札幌サンプラザにて第46回定期総会を開催し、全道・地区市町村組織の代議員ら約170名が参加した。総会では、5本のスローガンを確認するとともに、2018年度活動報告及び収支決算、2019年度運動方針及び予算案が満場の拍手で了承された。

2019年度の運動方針では、『食糧主権を損なう貿易交渉を阻止し、生産現場置き去りの農政改悪からの脱却と持続可能な農業・農村社会を取り戻す運動』を掲げ、重点課題として、①国際貿易交渉に対する運動の強化、②「真の農政改革」政策提言の実現運動の推進、③生産現場置き去りの官邸主導の農政からの脱却、④生産者の声が反映される政策実現に向けた農民政治力の結集の4つを上げ、運動を展開することとした。

なお、執行部から「農業・農村の崩壊につながる日米貿易協定交渉等に断固反対する特別決議」が提案され、満場の拍手で採択された。また、役員改選では、西原正行委員長をはじめ、全役員が再任された。（※詳細は北海道農村新聞または道農連HPをご覧ください）

日米貿易協定交渉等に断固反対する全道集会の開催を決定／第1回執行委員会

道農連は2月26日、第1回執行委員会を開催した。2018年度の執行体制等を決定し、基本農政対策、国際貿易交渉対策、各業態別対策、農民政治力結集対策などについて協議した。国際貿易交渉対策では、3月18日13時30分より、札幌市の道自治労会館で「日米貿易協定交渉等に断固反対する全道農民集会」を開催することを決めた。

集会では、東京大学大学院農学生命科学研究科の鈴木宣弘教授が日米交渉の脅威等について講演するほか、生産者の意見表明や農業者の未来を奪う日米貿易協定交渉等に断固反対する決議を採択する予定。また、3月25～26日には、集会決議を踏まえた中央要請行動を行うこととした。

農民政治力結集対策では、4月7日投票の道知事選挙にあたり、道知事候補予定者石川ともひろ氏と政策協定を交わした上で、推薦することを決定した。

2月の活動記録（上記以外）

- 1日 農業関係者向け「消費税軽減税率制度」説明会（札幌）
- 4日 全上川農民連盟定期総会
- 5日 道南地区農民連盟定期総会
てん菜立会人代表者会議・高品質てん菜づくり講習会（清水）
- 6日 水とタネを考えるフォーラム（たねの会主催）
- 7日 空知農民連合定期総会
後志地区農民連盟定期総会
- 8日 北見地区農民連盟定期総会
全十勝地区農民連盟定期総会
釧根地区農民連盟定期総会
地域情報交換会（でん粉）
- 12日 道農業再生協議会・水田部会

3月の活動予定

- 8日 タネの未来シンポジウム（北大農学部主管）
- 18日 日米貿易協定交渉等に断固反対する全道農民集会
- 19日 第1回酪農・畜産対策委員会
- 20日 第1回米・水田農業対策委員会
- 22日 合成洗剤追放北海道連絡会2019年総会
- 25日 日米貿易協定交渉等に関する中央行動（～26日）
- 26日 新たな外国人材受入に係る制度説明会
- 27日 道てん菜協会理事会
- 28日 第1回畑作・野菜対策委員会

◎詳しくは、「北海道農村新聞」（年間購読料1,800円・税込）をご覧ください。お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局（TEL011-241-5416）まで